



第1号

稚内市子育て推進協会  
事務局

稚内市教育委員会  
社会教育課(23-6520)



「子育て提言」を稚内のすみずみに根づかせるために・・・

## 子育て提言について話し合いました

稚内市の子育て提言は、前回の見直しから十年が経過しています。変化の激しい時代です。この十年間で提言の文言自体も今の時代にそぐわない面が見られてきました。見直しを図るべきタイミングにきていると言えるでしょう。

しかし単なる文言の見直しで終わらせたくはありません。稚内市の子育て運動を今後どう展開させるかという視点を持つことが大切です。できれば多くの市民がこの提言見直しの議論に参加し、子育ての知恵を出し合うこと。そして幅広く市民の合意が得られ、稚内の隅々まで根付き行きわたるような提言に練り直していくことが大切です。

今、中学校区単位での推進協議会(各地区ネットワーク)それぞれへ、提言見直しに関する議論の必要性を訴えています。また稚内市連合PTAとも連携し、各学校やPTAでの議論も呼びかけているところです。それ以外にも、子どもたちとの話し合い、大人どうしの語り合いなど、多くの市民が様々な場面で「今、子育てにとって大事なことは何か」を考えていけたらと思います。

### スマホ・ネットに賢く対応できる人間をどう育てるか

一 新しい時代にふさわしい方針転換を図る必要があります

「スマホ・ネットに賢く対応できる人間をどう育てるか」が求められます

・道具として賢い使い方ができる力をどう育てるか  
・正しく怖がり、ネットで失敗しない力をどう育てるか

### 二 そのために市民ぐるみの合意形成が必要です

◎スマホ・ネットに関する市民(保護者・地域)の議論をうながします

・端末機器のプラス・マイナス面や、現状をしっかりと認識した議論が必要で

・これからの時代を読み、未来の社会も想定した議論が求められます  
・そして理想と現実の両面をとらえ、市民の合意が得られる到達点を目指します

### 三 このような場面での議論をお願いします

・各中学校区単位での推進協議会へ議論を呼びかけます  
(各地区ネットワーク会議へ訪問して議論を呼びかけていきます)  
・市連Pとも連携し、各学校のPTAでの議論を呼びかけます  
(PTA三役会や役員会、あるいは学年・学級PTAでの話し合いをうながします)

◎各地区での議論や各校PTAで論議した内容を、何らかの形で吸い上げさせてもらい、新しい子育て提言の原案づくりに反映させていただきます。

・PTAの研修会や研修講座等を開催し、学び合える場面設定もお願いします



## 稚内の子育て提言

稚内市子育て推進協議会

**家族のふれあい** 大切なあいを大切にしていますか。

- 誕生日、卒業・入学など成長の節目を家族で感動的に。
- 笑顔のあいさつで家族の心の結びあいを。
- 子どもの話には、共感と励まし、少しのアドバイスを。
- 親の苦勞や夢・生き方を語る機会をつくりましょう。

**学校・家庭・地域の力あわせ**を大切にしていますか。

- 町内ぐるみで、子どもたちを見守り、励ます活動を。
- 学びあい、励ましあいのPTA活動の一層の工夫を。
- 保幼小中高大の連携で子どもたちに「生きる力」を。

**ケータイ・ネット**を使いこなせる力を育てましょう。

- 学校では「ケータイ・ネット」の危険な面をきちんと教えましょう。
- 家庭では、親子の話しあい、使い方の約束ルールを決めましょう。
- PTAでは、家庭の取り組み方を学びあい交流しましょう。

**かわいからこそ甘やかさない。生きる厳しさを教えていますか。**

- 早寝・早起き、朝食など、しっかりした生活習慣を。
- テレビ・ゲームは家族の約束で節度をもたせましょう。
- 家事を分担させ、働くことの大切さ、責任感、達成感を。
- 生命の尊さ、人権の大切さ、感謝と思いやりの心を。

**子は親・大人、地域の鏡。大人どうしの力あわせを大切に。**

- 近所づきあいを大切に、大人のつながりを。
- 地域で子育ての語りあいの輪を広げましょう。
- 社会のマナーをしっかり示せる大人に。

■制作：2009.5.5 稚内市子育て推進協議会(連絡先 稚内市教育委員会社会教育課 0162-23-6161)

\* 子どもたちとの話し合い、大人どうしの語り合いを通して、  
今、子育てにとって大事なことは何かを考えましょう！

# 令和元年九月二日

## 子育て平和の日記念式典

どこまでも広がる澄み切った青空。九月三日(火)に子育て平和の日記念式典が、宗谷岬公園の「祈りの塔」前の会場で関係者および市内の児童・生徒の代表も参加して開催されました。

三十六年前の九月一日、大韓航空機が旧ソ連の戦闘機の攻撃を受け、稚内の目の前の海に墜落するという大事件が起きました。その三年後、稚内市は世界の平和と子どもたちの健やかな成長を願い「子育て平和都市」を宣言し、次の年には「世界平和の鐘」「子育て平和の鐘」も設置されました。そして、稚内市は、この日を大韓航空機事件を忘れず恒久平和を祈願する日として大切にしてきました。



今年、大韓航空機事件の遺族会の代表として兵庫県から山口真史さん、静岡県から川名正洋さんが参加されました。工藤広市長の挨拶に続き、山口さんからも「事件を風化させてはいけない。稚内市のこの取組に感謝している。」と語られました。続いて、「子育て平和都市宣言文」を連合PTA子育て委員会を代表して、白岩章江さんが朗読、子育て平和の意義については、稚内市校長会の中尾忠会長が説明しました。最後に、平和の決意表明を市内の小中学校を代表して、六名の児童・生徒が行いました。

## 第1回子ども会議

### 子どもたちの努力をたたえる

本年度一回目の子ども会議が七月十二日(金)午後二時に風ぐるわつかないで開かれました。小学生五グループ、中学生四グループの計九グループにわかれて熱心に話し合いが行われました。初めて参加する子どもたちも昨年度参加経験がある子どもたちといっしょに、いっしょけんめいがんばりました。いろいろなテーマをもとに、自分の学校で取り組んでいることをわかりやすく説明したり、他の学校の取組を熱心にきいたり、とても意味のある交流の時間となりました。

りました。疑問に思ったことやもつと知りたいことなどを、素直に学び合う姿がすばらしかったです。これからの時代は、みんなで知恵を出し合って励まし合いながらチャレンジすることが、今まで以上に大切です。子どもたちは、やがて大人になり地域の担い手になります。今回の学びを各学校で伝え合い、さらなる成長を期待しています。十一月二十九日(金)に予定されている二回目の子ども会議がとても楽しみです。



## 宗谷教育講演会

### 俳優・宇梶剛士氏の講演です!

本年度の宗谷教育講演会の講師は、ドラマ・映画・舞台等でも活躍の宇梶剛士(うかじ たかし)さんです。先月まで放映されていたNHK連続テレビ小説「なつぞら」にも出演していましたし、北海道を舞台に松浦武四郎の自伝を描いたドラマ「永遠のニシパ」にもアイヌの長老役として出演中です。宇梶さん自身もアイヌの母のもとに生まれ、北海道にも大変ゆかりのある方です。  
しかし過去には、高校球児として甲子園を目指すのが途中で挫折し、構成員二千人の巨大暴走族の総長にまでなったそうです。そうした荒れた日々、末、収監された少年院で読んだチャップリンの自伝に感動し役者を志した、という経歴です。まさに「転んだらどう生きる?」 逆境から立ち上がり、自分の人生の主役をつかむまでの、学びの多い元気のもらえる話が聞けそうです。  
みんなで声をかけ合い誘い合って、大勢の方に参加してもらいたいと思います。

- ◆演題 「転んだら、どう起きる? ~自分の人生の主役は自分~」
- ◆講師 宇梶 剛士(うかじ たかし)氏
- ◆日時 11月8日(金) 午後6時開場 午後6時30分開演
- ◆会場 稚内総合文化センター 大ホール  
(小・中・高校生や大学生も話を聴くことができます。小さい子の託児所もあります。)



~みんなで誘い合って参加しましょう!